

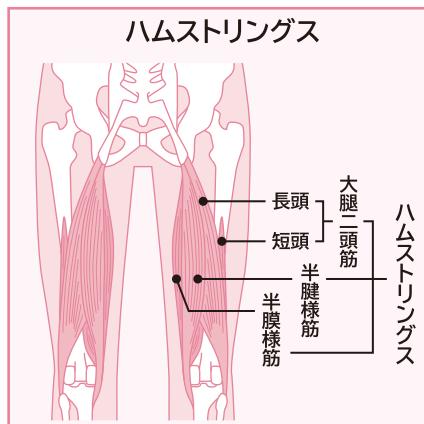


自宅で簡単にできる
トレーニングで理想的
的な太ももをゲット
しよう！

ハムストリングスは、
太もも裏にある筋肉群の
総称で、大腿二頭筋、
半膜様筋、半腱様筋の3つの筋肉を指します。

股関節を外に広げる動き（外旋）や内側に閉じる動き（内旋）など、股関節の動作に大きく関わっているのがハムストリングスです。また、膝の動きや足腰の強さ（下半身全体の安定）などにも関与しており、運動のパフォーマンスを大きく飛躍させてくれる効果があります。

今回のテーマ 筋肉シリーズpart7 「ハムストリングス」



筋肉を付ければ付けるほど基礎代謝が向上していきます。中でもハムストリングスのように大きな筋肉部位を鍛えれば、効率よく基礎代謝を向上させることができます。またハムストリングスを鍛えると、下半身全体の無駄なブレが少くなり、パフォーマンス向上も期待できます。

自宅でできるハムストリングスの筋トレ方法

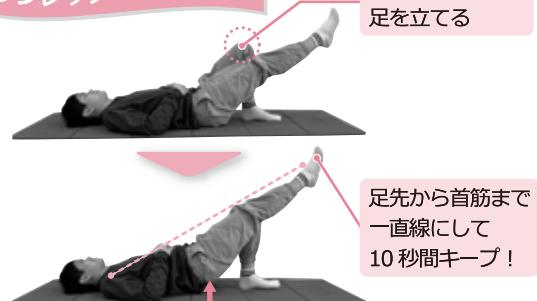
ワイドスタンススクワット

- 足を肩幅よりも広げ、足先を少しだけ外側に向ける。
- 背中を曲げずに、ゆっくりと腰を落としていく。
※この時、体重はかかとにかけておく。
- 太ももと床が平行になるまで下げ、元に戻す。



20回×3セットを目安に行う

ワンレッグヒップリフト



- マットを敷いた上に、仰向けで寝転がる。
- 膝を90度曲げて足を立てる。
- 膝から肩甲骨付近までまっすぐになるようお尻を上げる。
- 片足の膝を伸ばし、足先から首筋まで一直線にする。
この状態で、10秒間キープ！
- ゆっくりと足を下ろしていく、逆側の足も同様に行う。

左右10回ずつ×3セット行う

※つりそうになった時は、無理せずトレーニングを中断しましょう。体力に自信のない人は、両足を地面につけて(ヒップリフト)から始めましょう。

健やかに
生きる活動を
VOL.12

健活
すこ かつ



ハムストリングスを鍛えるメリット

- 基礎代謝がUPする
- 下半身全体の安定強化
- 太ももを引き締められる

筋肉シリーズ第7弾は「ハムストリングス」についてお伝えしたいと思います。ハムストリングスは、太もも裏にある筋肉群のことで、全身の中でもトップクラスに大きな筋肉です。鍛えれば鍛えるほど効果を期待できるでしょう。

和歌山リハビリテーション専門職大学
松井 有史 理学療法士



レッグカール



- マットを敷いた上にうつ伏せで寝転がる。
- 両手を顔の前に着き、みぞおち付近まで浮かせる。
- 左右のかかとをくっつけて、つま先を軽く地面から離してスタート。
- かかとをお尻に当てるように膝を曲げていく。
- ゆっくりと元に戻していく。つま先は地面につかないように。

20回×3セット行う

呼吸を整えながら、ゆっくりと行っていきましょう。